

平成23年度 杉森中学校 第3回学校運営協議会 会議録

日時 平成23年度 6月23日(木) 17時00分～19時30分

会場 杉森中学校 会議室

出席者 《協議会委員》

石田 壽文
高崎 彰
伴野 博美
松本 美智子
大熊 康子

大橋 亮介(校長)



《杉森中学校事務局》

田邊 克宣(副校長)
白井 克幸(教務主任)
松尾 宏(生活指導主任)
金子 敏治(進路指導主任)
長谷川 祐子(嘱託事務)



教育委員会

田中 稔 済美教育センター副所長



傍聴 一野 まり(青少年委員)

A委員 急に暑くなりました。6月4日は体育祭、校長先生を初め、職員のみなさんお疲れ様でした。お天気に恵まれてよかったです。印象として生徒が一生懸命取り組んでいましたね。前の週は雨続きで心配しましたが、先生方が黒子になってご指導いただいていた。出番を待つ姿も整然として生徒たちの自律の精神を感じました。

先週の学校公開、3日目に道德の公開授業があり、ベテラン三浦先生の授業がとてもよかった。ああいう授業で充実していけばいいですね。

今日は済美教育センターからCS担当の田中副所長がお見えになりました。今回も一野さんが傍聴に見えています。

— 各委員・教職員自己紹介 —

田中 教育委員会よりまいりました。済美教育センター副所長の田中です。娘もこの学校で国語の先生の授業参観をお願いしたことがありました。よろしくお願いします。

司会 報告をお願いします。

校長 学校支援本部の公募をしたところ、応募がありました。由井 営太郎さん。7月1日委嘱があります。次回から参加することになります。

6月4日無事に体育祭が終わりました。リーダーシップを発揮してくれ、応援などとても立派な体育祭でした。

この影には本校の教員が"生徒が主役になれる"ように地道な作業をしていました。

月曜日「いのちの教育月間」で私から話をしました。石田会長・伴野さんも着てくださいました。「あなたの大切な人は誰ですか」という大きなテーマです。ぜひ良い形で実践していければと思います。

(いじめや言葉の暴力についての話しもしました)

学校公開は平日 126 名のご参加をいただきました。校内研究「大きくなるということは」(三浦教諭授業)自己を見つめどのようにしていくか。すばらしい道德授業でした。

副校長 いよいよ夏休みです。4月にスタートして3ヶ月。行事も無事終わりました。6月13日に実際に小学校の教員にきてもらいました。今後小中の連絡をうまくとっていききたい。

教務主任 小中一貫の全体計画をご覧ください。区に提出した全体教育計画です。

今年度はとっかかりを作っていきたいと思います。10月5日全ブロックごとに中学校部会を中心にこれからくわしく小中の交流についてつめていきたいと思います。

できる範囲からやっていけばよいと思っています。7月の行事予定案ですが。

来週からテスト(9教科)があります。7月には5日間の職場体験があります。

次の週が3年生の三者面談。午後この時間を利用してやっていきます。

ESCが7月22日から3日間。秋川荘で生徒24名・講師5名が参加します。事前指導で英語科の先生を中心にやります。

夏休み期間中に補習があります。パワーアップ教室。7月21日から開始です。

教務主任 詳細は後日お話ししようと思います。外部講師・補助員という働きかけも会あったが、打ち合わせ等煩雑になるので、本校では教科担当ができる範囲で継続していく。

A委員 小中一貫の事で伺いますが、杉森祭はどうやっていくのか。吹奏楽を通じて…というのはどうなりましたか。

教務主任 吹奏楽は学期の搬送等があり、なかなか実現しないが、来ていただける分には大丈夫です。

A委員 規模は縮小しても…合唱でもいいですね。できるところからやっていきたいですね。

司 会 教員と生徒がどうかかわるか。中一ギャップで不登校が増える…何がギャップになっているのかわからない。

子どもがどう感じているか。

教務主任 漢検・英検・数研、がんばっています。

生活指導 プリント「大災害時の対応について」を明日配ります。生徒の様子としては朝礼などきちんと整列できています。

能教室の時、きちんとできているグループもあるが、ルールを守れない、中学生としてちゃんとした態度がとれないという生徒もいて、これからよく教えていきたい。34名の子どもが7月9日に盆踊りのボランティアをやってくれます。要求水準を高く持っていきたい。

B委員 大災害時のプリント…これは子どもたちが学校にいる時の対応ですか。これがもし職場体験いっていたり、ESCのプログラム中、夏休みだったりの時の対応はどうなっていますか。

生活指導 災害時は各家庭で色々な場面を想定してやってもらいたいと思っている。そのつど職員をどの位置に配置するかなどは決めています。盆踊りのボランティアなどはどうするかをこれからつめていく。

B委員 福島などでは、学校が終わったときに津波に襲われた。この辺は津波はないが、火災や崩壊があった時にどうするか。連絡する方法は電話回線以外に何か使えるか。衛星無線はありますか。

司 会 災害の対策については、個別に意見を伺うことにしましょう。避難経路を考える。自治体によっては変質者情報をすぐ送ってくれる。

田 中 一番新しい情報ですが、区の指針を作ります。小・中も引き取りを原則とする。学校間の違いをなくしていく。例えば、小学校が震度4で引き取り。中学校では震度4で引取りとなったら…。今回こういう問題が見え隠れしてきました。

引取りなど区で決めてやらなければならなかったが、「引き取り」か「集団下校」か…まちまちになってしまった。

防災無線の使い方がわからない学校もありました。TDRの時も杉森はいち早く情

報をくれました。バスの手配など杉森中は自分たちでなんとかする…ということで動いてくれたのですが、最終的にバスを出すことができませんでした。

それについてはお詫びしたいと思います。

親が地震で帰れない…でも引き取りになってしまった…という場合もあります。

学校の中で安全が確保できるようにしたい。

3月11日以前の学校がやるべきこと…というのが変わってしまいました。地域差をうめていきたい。先生方のご意見も伺ってやっていきたいです。7月に震災に関する読み物をだす予定です。

生活指導 7月28日に安全に関する講演があるが、それは別ですか。

田 中 それは別です。学校によっては7月に引取りがあるが、それには間に合わないです。すべてのものに対応するものは作れません。

まずは区の子どもたちをどうしていくか、考えています。今窓口は指導主事の大宮と飯塚です。震災対策から街づくりにまで発展してしまうので、今できることはまず学校でどうするか考えていきたい。

司 会 また、これはあらためてお話しを伺いたいですね。

進路指導 昨日、伝統芸能教室に行って来ました。狂言と能を鑑賞しました。3校から来ていましたが、とても静かに聞いていました。本物の能楽堂で見られたのがよかった。修学旅行が3年。相模湖が1年。2年は職場体験に向けて、金曜日に「働くことは」ということで、ハローワーク新宿の方に来ていただき体験に臨みます。

災害のことも考えてやっていきたい。

C委員 ハローワークが悪いということではありませんが、働くということはどういうことか考えていただきたいと思います。ここでも2年間話し合ってきたのですから…。

進路指導 道德教育と各教科の関連表を作りました。

司 会 どういう風に作りましたか？

業者が作った様なものでなく、どこに工夫があるのかというところが大切ですね。
(事務局退室)

司 会 では、協議会の方からお願いします。

A委員 PTAのことでPTA会長より広報誌に載せたいので、CS委員に7月13日の懇談会で話しを聞きたいとのことです。

C委員 今日傍聴してもらえばよかったですね。

司 会 4時から情報交換ということにしましょうか。その後傍聴してもらえばいいですね。学校運営協議会のよい宣伝にもなると思います。

A委員 地域の声を聞くというのは、とてもよい機会です。

司 会 運協の広報誌のまとめ会について教えてください。

- A委員 専門に広報誌のセミプロの方に任せることになりました。
- D委員 4ページもの。1 ページ目、校長先生の「CS に期待すること」2.3 ページ目は杉森のキャリア教育はどういう道をたどってきたか。職場体験で今までと違う場所をピックアップ。4 ページ目に新メンバー紹介という風にまとめようと思っています。ライターは一野さんということで、お話をしています。
- C委員 毎年出すものがきまってしまう。今年はこれがメインというものを決めてやったほうが、見やすい。
- 司 会 ではキャリア教育ということにしますか？
- D委員 キャリアと言うよりももう少し大きなテーマにしてみるというのは、いいのではないのでしょうか。ことにしますか。
- 司 会 ではキャリア教育ということにしますか。
- D委員 キャリア教育というより、もう少し大きいテーマ「生きる」という中でのキャリアをテーマにしてみたらいいのではないのでしょうか。
- E委員 震災についても、自分が助けられるだけでなく、中学生になったら自分は何をしていけるか…という事を考えていくべきだと思います。
- 司 会 予算計画の表を見てください。予算案について話し合いたいと思います。10月28日、新潟の推進協議会に参加します。議会が終わりました。各議員さんから色々質問がありました。震災対応・教科書採択についての質問がありました。
- D委員 子どもたちにどういう力をつけていくか、あの時どういう対応をしたか…これからはどうやっていくか…という話もありました。
- C委員 24日に出す文書が暫定的なものになってしまうかもしれません。原発についての教育をどうするか…。区の基本構想。エアコン工事が終わりましたがこれからの10年区政をどうしていくか、話しをすすめました。
- 司 会 生き方・キャリア教育という言葉を借りて考えていきます。小中一貫についても職場体験についても10年後の子どもたちはどうなっているのか…。
- 田 中 中学全校に学校支援本部を配置しました。その中でも、杉一・杉森はいち早く施策されていたが、今年から人にかかわる施策として小学校に区の教員を配置。史書の配置をすることになりました。被災地に教員を派遣しています。次にソフトの面です。1つのグループわけをしました。課題意識を持ち、一步一步やってほしい。こうやってほしいと言うことは、ありません。杉森中はベースになっていることが多い。国語と数学についてはカリキュラムを出していく。施策としてはまだがんばれる層にやってほしい。勉強できる子が学習意識が高いか…？まだまだ課題があります。済美教育センターは2課5係では、学校からきいた支援していきたい。パッケージで答えを出したくはない。
- C委員 10年前は審議前に話し合いや区民の声をきいてくれていたのですが、今は？

田 中 前回無作為の抽出で 10 名きてもらいしました。

C委員 田中区長の考えもよくわかりません。

E委員 もう少し意見を広く聞くという手法があるとおもしろいかもしれませんね。

田 中 センターもより深い意見をききながらやっていきたいと思います。今は手を広げすぎているというご意見があったので、それも伝えたいと思います。

司 会 PISA(国際学力調査)を前提にして教科書を選んでほしい。インターネット社会になってはきたが、技術のことだけ…このままでいいのか。

教科書には、歴史的な間違いがあるものもあった。厳しい採択をしていない。

D委員 学校司書の配置はいいが、図書室のあり方を考えてほしい。特別支援の体制。杉並はいいと思う。

司 会 協議会の交流会はありますか？

校 長 8 月 31 日各校一人でいただく交流会があります。

田 中 大震災後の対応プリントは、つなぎで出しますが、保護者のニーズもあり、今後また変更があるかもしれません。

今回の震災では的確な指示を出してくださり、各校ともケガ人がなくてよかったです。